

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場会社名 株式会社 東葛ホールディングス
 コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石塚 俊之
 (氏名) 吉井 徹

TEL 047-346-1190

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,225	△23.7	48	△35.7	46	△35.9	30	△20.3
23年3月期第1四半期	1,606	9.2	75	31.5	72	44.3	38	40.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 30百万円 (△20.3%) 23年3月期第1四半期 38百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.28	—
23年3月期第1四半期	7.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,225	2,551	41.0
23年3月期	6,365	2,569	40.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,551百万円 23年3月期 2,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,690	△24.1	102	△44.3	95	△46.7	50	△47.5	10.46
通期	6,029	△7.8	315	3.1	300	1.9	156	△2.1	32.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料P. 3「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	4,830,000 株	23年3月期	4,830,000 株
24年3月期1Q	800 株	23年3月期	800 株
24年3月期1Q	4,829,200 株	23年3月期1Q	4,829,200 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）におけるわが国の経済環境は、本年3月に発生した東日本大震災の影響により大幅に落ち込んだ生産活動は上向いてきていますが、雇用環境は依然厳しく、所得の伸び悩みにより個人消費の回復テンポも緩やかな状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、前述の東日本大震災の影響により一時メーカーの車両生産及び出荷が停止しました。その後生産を再開したものの、部品供給等の問題から工場の稼働率が通常の半分程度で推移したため、車両生産台数が大幅に落ち込んだことから、販売台数は大幅に落ち込みました。当第1四半期連結累計期間の国内新車販売台数は774,861台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比33.1%減）となりました。

また、車種別で見ますと、減税対象車であるハイブリッド車（フィットハイブリッド、プリウス等）、コンパクトカー（フィット、ヴィッツ等）、ミニバン（ステップワゴン、セレナ等）及び低燃費で車両維持コストが安い軽自動車（ワゴンR、タント等）が販売の上位を占めております。

セグメント毎の業績は、次のとおりであります。

新車販売につきましては、前述の東日本大震災の影響によりメーカーの車両生産が大幅に落ち込み、第1四半期累計期間に受注した車両の納期が軒並み7月以降となったため、実質的には在庫車のみでの販売という形態になったことから、販売台数は大幅に落ち込みました。その結果、販売台数は299台（前年同四半期比43.0%減）となりました。車検・12か月点検など整備業務を行うサービス売上は前年同四半期とほぼ同額でしたが、販売の減少に伴い登録受取手数料等の手数料収入は減少しました。売上高は9億14百万円（前年同四半期比32.8%減）となりました。

中古車販売につきましては、車両生産の大幅な落ち込みにより新車の納期がみえないなか、すぐに乗れる自動車を探される顧客層を取り込み、オークションからの外部仕入等車両の確保にも注力しました。その結果、販売台数は405台（前年同四半期比11.0%増。内訳：小売台数223台（前年同四半期比13.8%増）、卸売台数182台（前年同四半期比7.7%増））となりました。車検・12か月点検など整備業務を行うサービス売上は減少しましたが、小売販売の増加に伴い登録受取手数料等の手数料収入は増加しました。売上高は2億89百万円（前年同四半期比23.0%増）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業では保険契約件数の増加により、保険取扱手数料が増加したことから売上高は20百万円（前年同四半期比105.2%増）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は12億25百万円（前年同四半期比23.7%減）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は48百万円（前年同四半期比35.7%減）、経常利益は46百万円（前年同四半期比35.9%減）、四半期純利益は30百万円（前年同四半期比20.3%減）となりました。これは、中古車販売及び生命保険・損害保険代理店業関連事業では売上高が増加し、グループ全体での販売費及び一般管理費等の経費は前年同四半期を下回ったものの、全体に占める割合が大きい新車販売の売上高の減少をカバーするには至らず、営業利益、経常利益及び四半期純利益はいずれも減少となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期末連結会計期間末の流動資産は36億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて21百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1億42百万円、その他の資産が8百万円がそれぞれ増加、受取手形及び売掛金が1億34百万円減少したことによるものです。固定資産は25億81百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億59百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が19百万円、投資その他の資産が1億38百万円それぞれ減少したことによるものです。繰延資産は10百万円となり、前連結会計年度末に比べて1百万円減少いたしました。

この結果、総資産は62億25百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億39百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期末連結会計期間末の流動負債は33億59百万円となり、前連結会計年度末に比べて44百万円増加いたしました。これは主にその他の負債が1億63百万円増加、短期借入金が1億33百万円減少したことによるものです。固定負債は3億15百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億66百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が2億8百万円減少、その他の負債が45百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は36億74百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億21百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期末連結会計期間末の純資産合計は25億51百万円となり、前連結会計年度末に比べて17百万円減少いたしました。これは四半期利益30百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は41.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億42百万円増加し、当四半期連結会計期間末には9億61百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は3億30百万円（前年同四半期は1億42百万円の使用）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益56百万円から主に減価償却20百万円、賞与引当金の増加19百万円、売上債権の減少1億41百万円、その他資産の減少1億31百万円及び法人税等支払額43百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は2百万円（前年同四半期は1百万円の使用）となりました。これは主に固定資産の取得による支出5百万円、貸付金の回収による収入2百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は1億84百万円（前年同四半期は34百万円の使用）となりました。これは借入金の返済による支出1億36百万円、配当金の支払による支出48百万円によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、平成23年5月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	818,413	961,115
受取手形及び売掛金	2,370,710	2,236,286
商品及び製品	281,330	286,032
その他	143,314	151,474
流動資産合計	3,613,769	3,634,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	353,435	345,903
機械装置及び運搬具(純額)	123,372	111,959
土地	1,689,171	1,689,171
その他(純額)	9,069	8,073
有形固定資産合計	2,175,049	2,155,108
無形固定資産	12,265	11,674
投資その他の資産	552,780	414,224
固定資産合計	2,740,095	2,581,006
繰延資産	11,510	10,071
資産合計	6,365,375	6,225,988
負債の部		
流動負債		
買掛金	298,549	307,754
短期借入金	2,588,862	2,455,731
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	14,280	14,280
未払法人税等	43,907	30,132
引当金	42,048	61,073
その他	297,263	460,504
流動負債合計	3,314,912	3,359,476
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	46,450	42,880
役員退職慰労引当金	208,169	—
その他	196,817	242,552
固定負債合計	481,436	315,432
負債合計	3,796,349	3,674,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,300	210,300
資本剰余金	199,711	199,711
利益剰余金	2,159,339	2,141,392
自己株式	△325	△325
株主資本合計	2,569,025	2,551,078
純資産合計	2,569,025	2,551,078
負債純資産合計	6,365,375	6,225,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	1,606,292	1,225,396
売上原価	1,236,229	893,817
売上総利益	370,063	331,578
販売費及び一般管理費	294,401	282,887
営業利益	75,661	48,690
営業外収益		
受取利息	586	564
受取手数料	1,711	3,609
受取保険金	1,828	—
その他	433	765
営業外収益合計	4,560	4,939
営業外費用		
支払利息	6,147	5,237
開業費償却	1,438	1,438
その他	162	471
営業外費用合計	7,749	7,147
経常利益	72,472	46,482
特別利益		
保険解約返戻金	—	9,743
特別利益合計	—	9,743
特別損失		
固定資産処分損	12	—
特別損失合計	12	—
税金等調整前四半期純利益	72,460	56,225
法人税等	34,375	25,880
少数株主損益調整前四半期純利益	38,085	30,344
四半期純利益	38,085	30,344

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	38,085	30,344
四半期包括利益	38,085	30,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,085	30,344
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	72,460	56,225
減価償却費	24,911	20,664
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21,406	19,024
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,147	2,147
受取利息及び受取配当金	△586	△564
支払利息	6,150	5,237
固定資産処分損益 (△は益)	12	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,893	141,722
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,482	△4,557
仕入債務の増減額 (△は減少)	△116,557	9,204
開業費償却額	1,438	1,438
差入保証金償却額	1,599	1,599
その他の資産の増減額 (△は増加)	△8,594	131,052
その他の負債の増減額 (△は減少)	△17,016	△3,802
小計	△18,038	379,393
利息及び配当金の受取額	—	15
利息の支払額	△6,129	△5,297
法人税等の支払額	△118,558	△43,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	△142,726	330,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,722	△5,070
貸付金の回収による収入	2,682	2,682
差入保証金の差入による支出	—	△130
差入保証金の回収による収入	14	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,026	△2,507
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	21,019	△133,131
長期借入金の返済による支出	△7,170	△3,570
配当金の支払額	△48,292	△48,292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,442	△184,993
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△178,195	142,702
現金及び現金同等物の期首残高	940,570	818,413
現金及び現金同等物の四半期末残高	762,374	961,115

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,360,435	235,646	1,596,081	10,211	1,606,292
セグメント間の内部売上高又は振替高	45,233	132	45,366	—	45,366
計	1,405,669	235,778	1,641,447	10,211	1,651,658
セグメント利益又は損失	100,090	21,421	121,512	△8,366	113,145

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	121,512
「その他」の区分の損失	△8,366
全社費用（注）	△37,484
四半期連結損益計算書の営業利益	75,661

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	新車販売	中古車販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	914,673	289,767	1,204,441	20,954	1,225,396
セグメント間の内部売上高又は振替高	34,989	—	34,989	—	34,989
計	949,663	289,767	1,239,430	20,954	1,260,385
セグメント利益	57,121	26,148	83,270	1,914	85,184

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	83,270
「その他」の区分の利益	1,914
全社費用（注）	△36,493
四半期連結損益計算書の営業利益	48,690

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。